

外国人留学生と企業を結ぶ 実践的な日本語・キャリア教育

語学力を併せて 社会対応力を身につける

神戸学院大学のグローバル・コミュニケーション学部は、グローバル化する社会に対応できる語学力とコミュニケーション力を併せ持った人材育成をめざし、2015年に開設されました。その中の「日本語コース」は、実用的な日本語コミュニケーションを学び、日本の企業で働くことを目標とする外国人留学生のためのコースです。日本語学校を卒業したベトナムや中国など多くの学生が学んでいます。私の専門は日本語文法ですが、本コースの立ち上げから関わり、留学生の教育に携わっています。

日本語コースでは、「言語・専門学習」、「ビジネス基礎トレーニング」、「ビジネス実践トレーニング」、「就職活動」のステップを経て日本で働ける力を獲得します。日本語会話・読解・表現を学びながら、日本社会におけるマナーなども身につけていきますが、少人数制のクラスで学ぶため、発音力や協調性が養われるのも特長です。

また、日本人学生とイベントを企画したり、中学生と国際交流する機会を

グローバル・
コミュニケーション
学部

栗原 由加
准教授

授業の一環として設けており、机上だけではない学びにより日本語力やモチベーションを高め、自然に日本社会・文化を知ることにも可能となっています。

企業と学生の出会いの場となる インターンシップや交流会

3年次に行うインターンシップでは、改めてビジネスマナーなどの事前指導を受けて企業での就業体験に臨みます。インターンシップ中は教員も受け入れ企業を訪問し、評価や要望を伺います。同時に、学生の悩みなども聞くことで、二ヶ月にわたる就業体験をサポートします。学生は、インターンシップでの経験で協調性や主体性、日本で働く姿勢を学び、大きく成長します。日本語を学ぶ意欲も向上しますし、客観的に自分を見つめなおすことで、志望する業種や職種も明確になります。

2017年から始めた「グローバル人材&企業交流会 in 神戸学院大学」では、2年次生以上の学生が企業の方とコミュニケーションをはかります。学生が仕事内容について企業の方に質問したり、デイスカッションするなど、毎回異なる試みをしています。積極的に留学生を採用しようとしている企業も多く、学生は交流会をきっかけに参加企業から内定をいただくこともあります。最近開催した第5回交流会では、6社の企業と他大学を含む40人の学生が参加しました。

企業がインターンシップの受け入れや交流会に参加するメリットは、日本社会で通用するスキルや異文化適応力を身につけた学生に出会えるということです。外国人を採用したいが適した人材が見つからないという課題解決の糸口

が見つかるかもしれません。インターンシップ生を受け入れていただける企業をこれからも開拓していきたいと考えています。



他大学の先生と協力し作成した、漢字を学べるワークブック

外国人が日本で働くための 言語教育と枠組みづくり

これらと同時並行で進めているのが、「脱落させない日本語教育」をテーマにした活動です。外国人が日本で働くうえで、企業側も課題に感じていることのひとつに、「漢字がわからない」という点があげられます。たとえば、製造現場で働くには「安全」や「危険」など、絶対に読めなければならぬ漢字がありますが、非漢字圏の国々から来た外国人にとって、漢字を覚えるのはとても難しいことです。そのため、漢字を楽しく学べるワークブックを他大学の先生方と開発しており、今後幅広く展開していく予定です。

留学生への日本語教育やキャリア教育などの活動を通してめざしているのは、外国人が日本企業に採用され、働き続けやすい仕組みをつくること。そのため「大学、企業、日本語学校、地域が連携する大きな枠組み」を作ることが私の目標です。今後は、より多くの企業と協働し、この活動を広めていきたいと思っています。



- ポートアイランドキャンパス
- 法学部 ■経営学部 ■現代社会学部
- グローバル・コミュニケーション学部 ■薬学部
- 有瀬キャンパス
- 経済学部 ■人文学部 ■心理学部
- 総合リハビリテーション学部 ■栄養学部
- 大学院



神戸学院大学
KOBEGAKUIN UNIVERSITY

神戸市中央区港島1-1-3 078-974-1551(代表)

2019年4月 大学院心理学研究科 開設